

報道関係者各位（プレスリリース）

2025 年 7 月 19 日（土）

株式会社日本レースプロモーション

SUPER FORMULA “金曜日パートナーDAY” 参加企業 28 社 & 来場 300 名超の大盛況！

- 堀江貴文氏による基調講演の他、ビジネス交流会、就職説明会を初開催 -

国内最高峰で最速のフォーミュラカーレースシリーズである全日本スーパーフォーミュラ選手権（以下「SUPER FORMULA」）を開催する株式会社日本レースプロモーション（以下「JRP」）は、シリーズ第 6 戦・第 7 戦が行われる富士スピードウェイ（静岡県小山町）にて、練習走行が行われた 7 月 18 日（金）に初めて“金曜日パートナーDAY”と題して、自動車産業界とのビジネス交流を目的とした「技術セッション」、自動車産業界及びモータースポーツ業界への就職を目指す学生とのマッチングを目的とした「就活セッション」を初めて開催し、参加企業 28 社、来場 300 名超の大盛況となりました。



<写真：“金曜日パートナーDAY”会場の様子>

SUPER FORMULA

“レースは走る実験室” 本田技研工業の創業者である本田宗一郎氏の言葉を引用し「世界最高峰の HUMAN MOTORSPORTS である SUPER FORMULA の場で日本の未来をともに築きましょう！」との主催者挨拶のもとスタートした“金曜日パートナーDAY（技術セッション／就活セッション）”は、午前 11 時の練習走行と同時に開始。会場の真横を時速 300km のフォーミュラカーが駆け抜ける中、来場者の熱視線は出展企業に向けられていました。



<写真：主催者挨拶を行う JRP 代表取締役社長 上野禎久（※下部へ全文掲載）>

自動車産業界とのビジネス交流を目的とした「技術セッション」では、SUPER FORMULA へ技術提供するパートナー企業を中心に、自動車関連企業 13 社が最新技術を展示。150 名を超える企業や研究者がモータースポーツの最前線の現場で技術交流を行いました。また、会場に設けられたステージでは実業家の堀江貴文氏が「宇宙開発を支えるモータースポーツの技術」をテーマに基調講演を行い、参加した技術者や研究者が熱心にモータースポーツで培われた技術の可能性について聞き入っていました。

SUPER FORMULA



＜写真：（左）技術交流を行う参加者／（右）基調講演を行う実業家 堀江貴文氏＞

自動車産業界及びモータースポーツ業界への就職を目指す学生とのマッチングを目的とした「就活セッション」は、JRP のパートナー企業である FENNEL とともに企画・開催し、SUPER FORMULA 参戦チームや開催サーキットなど、自動車産業界やモータースポーツ業界で第一線を行く企業 15 社が、こうした業界への就職を希望する 150 名を超える学生を対象に合同就職説明会を実施いたしました。午前の部が開始する 11 時前から入場待機列ができるほど、平日の金曜日を活用し、多くの学生の来場となりました。



＜写真：（左）就職説明会に参加する学生／（右）学生に向けて説明を行う Honda/HRC 田辺豊治氏＞

JRP は今回の結果を受けて改めて、社会課題の解決への貢献としてモータースポーツが果たすべき役割を再認識し、これからも社会に役に立ち、社会から必要とされるモータースポーツを目指してまいります。SUPER FORMULA を活用した社会課題の解決にご興味のある企業・団体がございましたら、是非ご一報お願いいたします。

開会のご挨拶

日本レースプロモーションの上野でございます。

SUPER FORMULA

本日は SUPER FORMULA パートナーDAY にご出展・ご来場いただき、誠にありがとうございます。
我々が運営する SUPER FORMULA は世界最高峰の HUMAN MOTORSPORTS を掲げている国内、そしてアジア最高峰のフォーミュラカーレースです。

今年から SUPER FORMULA ではレースがある週末の金曜日にパートナーDAY というイベントをはじめました。

パートナーDAY は、モータースポーツ業界をサステイナブルにしていくため「新たな仲間づくり」を目的としています。

中でも、本日はじめて開催する技術セッションでは SUPER FORMULA、ひいてはモータースポーツが持つもうひとつの側面、「走る実験室」にフォーカスをあてています。

我々は、モータースポーツが「走る実験室」であることを、多くの方に知っていただき、実験場としてご活用いただきたいと思います

この「走る実験室」という言葉は、古くは本田技研工業の創業者、本田宗一郎氏がホンダがはじめて F1 参戦を開始したときの言葉です。

またトヨタ自動車の創業者、豊田喜一郎氏も同様に、モータースポーツは「日本の自動車製造業の発達に必要な欠くべからずものである」と残しています。

このように「走る実験室」は日本の自動車産業の黎明期から根底に流れ続けるモータースポーツの存在意義のひとつです。

自動車産業は、日本の基幹産業です。

そして現在、自動車産業は 100 年に 1 度の大変革の時代にあります。

クルマの持つ価値は多様化し、あらゆるモノ・コトとの連携が不可欠。

クルマづくりは、サービスやインフラづくりとなり、もはや自動車産業だけですべてを完結できるものではありません。

そんな大変革の時代にモータースポーツが持つ「走る実験室」という価値を改めてみなさんにお伝えし日本という国を、みなさんとともに盛り上げたい・・・そういった思いで本イベントを開催するに至りました。

本日お集まりいただいた皆さまは、業種も来場された目的もさまざまだと思います。

本日の新たな出会いや体験がきっかけとなり、この SUPER FORMULA という場を「走る実験室」として活用していただければと思います。

私たちと一緒に、日本の未来を共に築いていきましょう！

改めまして、本日はご出展・ご来場いただき誠にありがとうございます。

ぜひ本日の新たな出会い、そして何よりもこのサーキットという非日常空間で、モータースポーツの熱量を楽しんでいただければ幸いです。

以上を持って、開会の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

SUPER FORMULA

以下、参考情報

・モータースポーツ振興と地域活性化を目的に 静岡県と「地域連携パートナーシップ」を締結 - 富士スピードウェイ大会を契機にモータースポーツツーリズムを推進 -

→ <https://superformula.net/sf3/release/22105/>

・7/18(金) SUPER FORMULA “金曜日パートナーDAY” 【技術セッション】出展企業&基調講演登壇者決定！～ MOBILITY の未来とともに挑戦するビジネス交流会を初開催！～

→ <https://superformula.net/sf3/release/21929/>

・7/18(金) SUPER FORMULA “金曜日パートナーDAY” 学生向け合同就職説明会を初開催！参加企業決定！～ TOYOTA, Honda, YOKOHAMA, 他、富士スピードウェイに大集結！～

→ <https://superformula.net/sf3/release/21897/>

・7/18(金) SUPER FORMULA “金曜日パートナーDAY” 堀江貴文氏による特別基調講演決定！～ 講演テーマ:宇宙開発を支えるモータースポーツの技術～

→ <https://superformula.net/sf3/release/21806/>

【 本件に関するお問い合わせ先 】

株式会社日本レースプロモーション 広報担当：上坂、上田

〒101-0052 東京都千代田区神田小川町 3-28-5 axle 御茶ノ水 3F-304

TEL. 03-5801-6470 FAX. 03-5801-6471 E-mail. media@superformula.net

SUPER FORMULA